

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】平成 27 年 1 月 8 日 (2015.1.8)

【公開番号】特開 2014-50249 (P2014-50249A)
【公開日】平成 26 年 3 月 17 日 (2014.3.17)
【年通号数】公開・登録公報 2014-014
【出願番号】特願 2012-192113 (P2012-192113)
【国際特許分類】

H 0 2 M 3/28 (2006.01)

B 8 1 B 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 3/28 Y

B 8 1 B 3/00

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 11 月 17 日 (2014.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【図 1】本発明を説明する前の前提的基礎技術として、ヒンジ機構を備えた静電型変換装置を示す平面図である。

【図 2】図 1 におけるヒンジの構造を示す説明図である。

【図 3】図 1 におけるヒンジの回動状態を示す説明図である。

【図 4】本発明を説明する前の前提的基礎技術として、図 1 とは異なるヒンジ機構を備えた静電型変換装置を示す平面図である。

【図 5】図 4 におけるヒンジの構造を示す説明図である。

【図 6】図 4 におけるヒンジの回動状態を示す説明図である。

【図 7】本発明に係る実施の形態 1 として構成した静電誘導型変換装置を示す平面図である。

【図 8】図 7 に示した静電誘導型変換装置の駆動点行列によって導かれる電気等価回路を示す図である。

【図 9】図 7 に示した静電誘導型変換装置の S P I C E 等価回路を示す図である。

【図 10】S P I C E 等価回路を用いたシミュレーションの結果を示す図である。

【図 11】実施の形態 1 により構成した Z 方向振動型櫛歯静電トランスを示す図である。

【図 12】実施の形態 1 により構成した Y 方向振動型櫛歯静電トランスを示す図である。

【図 13】本発明に係る実施の形態 2 として構成した D C - D C コンバータを示す回路図である。

【図 14】図 13 の回路図をより詳細に示した回路図である。

【図 15】D C - D C コンバータに含まれる自励発振回路の動作原理を示した回路図である。

【図 16】可動部材の中間部にヒンジを設けた変形例 1 を示す図である。

【図 17】可動部材の中間部にヒンジを設けた変形例 2 を示す図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 1 】

図 1 2 は、Y 軸方向に櫛歯が回転する Y 方向振動型櫛歯静電トランスを示す図である。
基本的な動作原理は、図 1 1 の Z 方向振動型櫛歯静電トランスと同じであるので、説明は省略する。